



学校だより

(4月号)平成31年4月8日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

◎ 夢(ゆめ)に向かって ともに学びあう学校

- ・すすんで勉強する子
- ・自分からあいさつのできる子
- ・仲よくたすけあう子
- ・じょうぶな子

《今月の生活目標》 ・「学習のきまり」を守ろう

『時、場、礼』

校長 河井 尚

今年も桜の季節を迎えました。初めて新開小学校を訪れた時、土手の桜が見事に咲き誇り、子どもたちに「がんばれ」とエールを送ってくれているように感じました。新開小学校では、新入生54名を含め、児童数371名で2019年度がスタートしました。

今年度も「夢に向かって ともに学びあう学校」を教育目標に決めました。めざす児童像「すすんで勉強する子」「自分からあいさつのできる子」「仲よくたすけあう子」「じょうぶな子」も継続していきます。

子ども達は家庭や地域での生活を基盤として、学校生活においても多様な人との関わりを通して成長していきます。私たち人間は、互いに助け合いながら生きています。「人」という文字は、斜めの画が互いに支え合って、構成されています。そのことから、人間は、社会をつくって生きています。社会とは、支え合う仕組みということです。支え合うためには、互いに理解し合い、尊重し合わなければなりません。私は、そうした社会を構成するための基盤は一人ひとりが「時を守り、場を清め、礼を正す」ことだと思えます。

「時を守り」は時間を守ること。時間を守るとは、相手を尊重することであり、自分の信用を積み重ねることにもつながります。まずは「すべての予定の開始5分前に姿勢を正し、心を静め、開始を待つ」ことから始めたいものです。

「場を清め」とは掃除をすること。掃除をしっかりとすると、①気づく人になれる②心を磨く③謙虚になれる④感動の心をはぐくむ⑤感謝の心がめばえる、とされています。みんなが毎日一つ足元のゴミを拾えば、みんなのまわりがきれいになります。

「礼を正す」は、挨拶をすること、返事をする事。

挨拶の意味は、心を開いて相手に迫るといことです。挨拶をすれば人間関係がよくなります。朝の挨拶を人より先にすることが大切だと思います。誰に会っても、相手が聞こえる大きな声で、相手が気持ちよくなる挨拶をする。「おはようございます！」そして、呼ばれたら「ハイ！」返事をすれば人間関係がよくなります。呼ばれたら、相手が聞こえる大きな声で、相手が気持ちよくなる返事をする。打てば響くような「ハイ！」です。

以上の3つは、実際に今日、「いま、やる」ことが大切です。その積み重ねが、将来、大人となって、社会人として活躍するための根幹となるはずで。

「時を守り、場を清め、礼を正す」

本年度は、この言葉をキーワードに、未来の日本を担う「しびらきっ子」の健やかな成長を願い、教職員一同、教育活動に取り組んでまいります。昨年度同様のご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。